

記載例

作成者及び作成年月日を記載してください。
その後、一覧表のやり取りの過程で、加筆又は修正等をした場合は、その履歴(年月日及び加筆又は修正者)を記載してください。

事件番号、係名及び当事者名を記載してください。

平成〇〇年(ワ)第〇〇〇号 民事第22部〇係
原告〇〇〇〇/被告〇〇〇〇
平成〇〇年〇月〇日原告作成
平成〇〇年〇月〇日被告記入
平成〇〇年〇月〇日原告修正

時系列表

年月日	場所	参加者	原告(注文者側)			被告(設計者側)		
			内容	関係図面	証拠	内容	証拠	
H〇〇〇.〇	原告宅(本件建築予定場所)	原告 被告	被告に原告宅に来てもらい、家を建て替える際の流れ等について一般的な話を聞いた。			認める。	適宜、原告及び被告の表示を入れ替えるなどとして使用してください。	
H〇〇〇.〇	原告宅	原告、〇〇(原告の妻) 被告代表者	原告は、被告代表者に対し参考のために、他の設計事務所作成の図面写しを交付した上で、原告の求める自宅の全体的なイメージを説明した。その際、現在の自宅の寝室の窓が小さく、昼でも薄暗いことに不満があることを伝えた。	見取図(〇〇作成)	甲8	原告夫妻と被告代表者が面談したこと、他の事務所作成の図面写しを交付されたことは認めるが、寝室の窓に関する不満を述べたことは否認する。この日の打合せで窓の大きさや数が話題に出たことはない。		
H〇〇〇.〇	被告事務所	原告 被告代表者、〇〇(被告担当者)	原告は、平成〇〇年〇月〇日の打合せを踏まえて被告が作成した平面プランの提示を受けた。原告は、2階の寝室の窓を大きなものにするよう要望したところ、被告代表者は、可能であると思うので検討する旨回答した。	平面プラン	甲3の1及び2	原告と被告代表者らが面談したこと、平面プランを提示したこと、原告から窓の大きさに関する要望があったことは認めるが、被告代表者が可能であると思うと伝えたことは否認する。原告の要望に対し、検討はしてみるが、構造上、これ以上窓を大きくすることは難しいことを伝えた。		
H〇〇〇.〇	電話	原告、被告代表者	被告から電話があったとの事実を否認する。原告はこの日〇〇に出張に行っており、電話に出られるはずがない。 <u>この日を含め、被告から、寝室の窓を大きくすることが不可能であると告げられたことはない。</u>		甲26	被告代表者から原告に電話をかけ、検討の結果、寝室の窓を大きくすることは不可能であることが分かった旨伝え、原告の了承を得た。	乙14	一覧表のやり取りの過程で、加筆又は修正等をした場合は、アンダーラインを付し、又は文字に色を付けること等により、加筆又は修正等した箇所が分かるようにしてください。